



# 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2012年4月1日から同9月30日における事業の概況をご報告させていただきます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、公共事業を中心とする復興関連需要や個人消費を背景に内需型産業は底堅さを保ったものの、一方で、長期化する円高や、海外では欧州や中国における景気の減速が日本経済に影響を与えつつあります。他の新興国経済も減速感があり、日本を取り巻く景気動向は不透明な状況で推移しております。

こうした中、当社グループにおきましては、主力の情報電子事業、合成樹脂事業を中心に堅調に推移し、連結ベースでの売上高は2,353億6千9百万円(対前年同期比1.5%増)、営業利益は37億2百万円(同1.6%増)となりました。また、持分法投資損益等の改善により、経常利益は43億8千7百万円(同5.2%増)、四半期純利益は31億6千2百万円(同17.2%増)となりました。

2013年3月期は、昨年に策定いたしました3カ年の中期経営計画「IK2013」の2年目であり、重要な1年です。最終年度の計画達成に向かって全社員一丸となって邁進する所存です。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

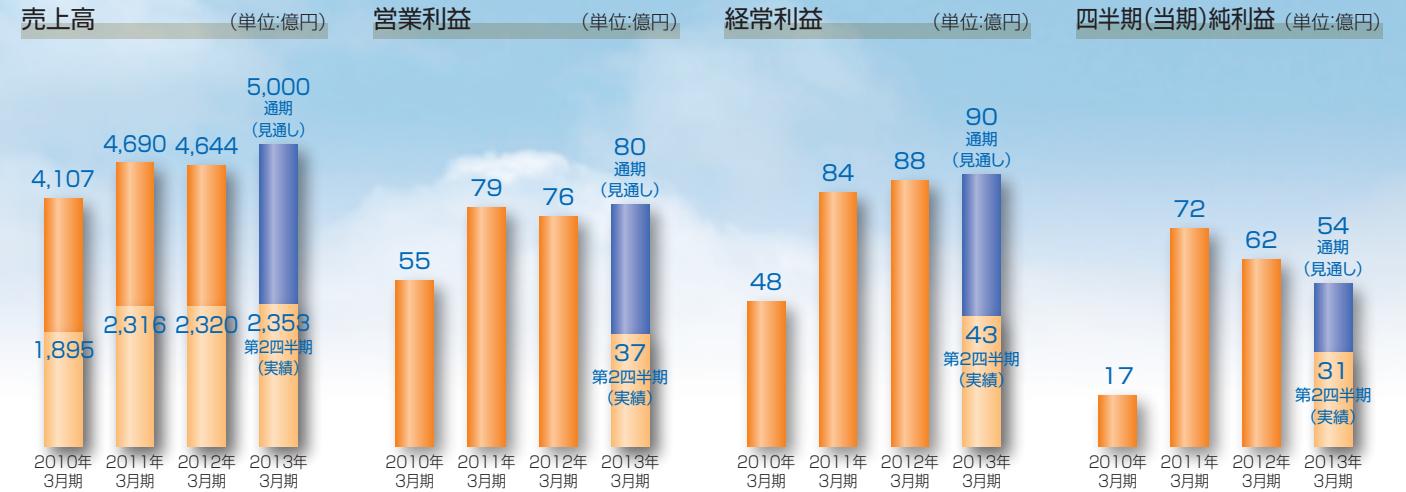
2012年12月



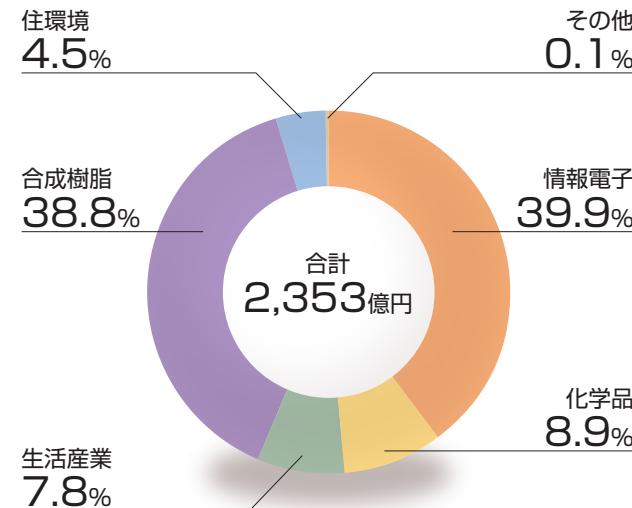
[ 経営理念 ]  
Mission  
「愛」「敬」の精神に基づき、  
人を尊重し、社会の発展に貢献する

代表取締役社長 稲畑勝彦

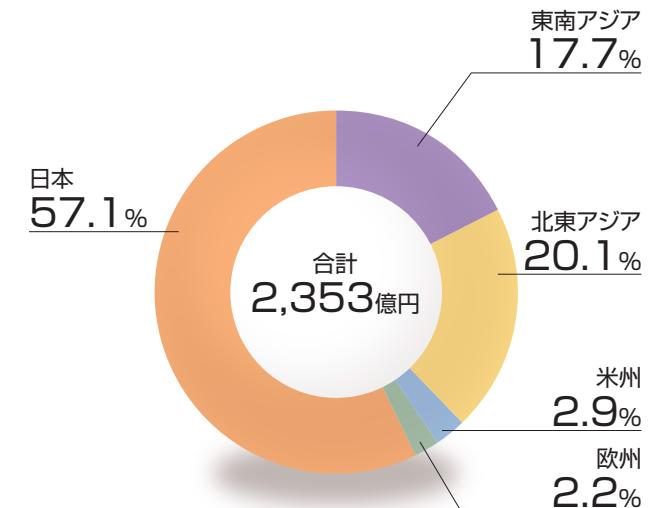
通期  
第2四半期累計



事業区分別売上高・構成比 (2012年4月1日～9月30日)



所在地別売上高・構成比 (2012年4月1日～9月30日)



# 世界の人々と価値を共有し、 そこに暮らす人々と共に発展する。

取締役常務執行役員  
(海外事業担当)  
西村 修



## ▶ アジアを軸に順調な実績

当第2四半期の海外事業の実績は、前年同期比約5%増の1,010億円となりました。復旧が進むタイやインドネシアなど域内の景気が良好な東南アジア、中国・台湾を中心とする北東アジアが好調です。米州および欧州もおおむね堅調に推移しています。

今後も主力のアジア地域への注力は堅持しながら、欧米も含めさらに高い目標を掲げて海外事業を伸ばしていきたいと考えています。

## ▶ 新興国マーケットへ

併せてインド、メキシコ、ブラジル等、新興国マーケットもぜひとも伸ばしていきたいと考えているところです。

現地法人化して4年目になるインドでは、活発な市場に対応していきます。また、メキシコでは8月に現地法人イナバタメキシコ

を設立し、日系自動車メーカーの集積が進む同国の市場開拓を目指します。次のターゲットとしては、できるだけ早い時期にトルコにも進出したいと考えています。

## ▶ 事業分野や地域を超えて

アジア地域は当社の海外事業においてメインエンジンです。そして、液晶関連ビジネスを中心とした情報電子事業と、当社の看板のひとつでもあるプラスチックコンパウンドを併せ持った合成樹脂事業拡大には世界各地で注力します。中でも、アジアで取り組む自動車関連のプラスチックビジネスを、インドや中南米を含む米州に拡大したいと考えています。化学品分野では、中国で行っている塗料原料加工ビジネスを、東南アジアやインド、米州に広げようとしています。

また、国内販売が中心だった住環境や食品事業も、海外マーケットの本格的な開発に乗り出しました。住環境分野では、アジア各地へ進出されるお客さまのフォローアップ体制を構築しています。食品分野においても、北米やチリ産の食材を米国市場で販売、あるいは欧州やアジアへ輸出するなどしています。

## ▶ 世界の中で連携を築く

これら事業分野や地域を超えた取り組みが増える中、各国のスタッフやパートナーの方々との連携が一層重要になってきます。

当社のIK Valuesの中で謳っている「世界の人々と価値を共有し、そこに暮らす人々と共に発展する」を実践していきたいと思っています。

## 東南アジア+インド

各地で樹脂コンパウンド事業を展開、家電・OAや自動車・自動二輪向けを中心に合成樹脂の販売を行っています。タイでは、塗料原料となるニトロセルロース(硝化綿)の製造会社を現地のパートナーと運営。情報電子分野はシンガポールを基点に液晶やプリンター関連事業を展開しています。インドでは、自動車など向けに合成樹脂、化学品を販売しています。

## 北東アジア

中国、台湾、韓国で、主にFPD(フラットパネルディスプレイ)向け情報電子材料・装置の販売、樹脂コンパウンド事業、塗料原料の加工を行っています。今後は薄型テレビやスマートフォン端末向け液晶関連事業の一層の伸長が予想され、当社も日系・海外企業とのコラボレーションを強化し、ビジネス拡大を図ります。

## 米州

情報電子、合成樹脂、化学品、食品の各分野の原材料を扱っています。拡大が見込まれる市場として、自動車関連メーカーの進出が相次ぐメキシコでのビジネス開発に着手しました。ブラジルでの合成樹脂や化学品事業の可能性も検討中です。

## 欧州

イギリス、フランス、ポーランドで、ファインケミカル、環境・エネルギー、液晶・半導体を中心に事業を展開。医薬中間体や電子材料向け化学品の開発・製造を行うフランスのグループ会社は、特徴ある合成技術で機能を発揮しています。

欧州

北東アジア

東南アジア+インド

海外拠点

約60拠点

海外事業の売上高と同営業利益の推移  
(単位:億円)



米州

# 連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

## 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 2012年3月31日現在	当第2四半期連結会計期間末 2012年9月30日現在	増減額
流動資産	189,470	190,411	941
固定資産	61,574	58,266	△3,308
資産合計	251,045	248,678	△2,366
流動負債	152,129	149,031	△3,098
固定負債	21,184	20,626	△557
負債合計	173,314	169,657	△3,656
純資産合計	77,730	79,020	1,289
負債純資産合計	251,045	248,678	△2,366

### Point1: 固定資産の減少

主に投資有価証券の時価の下落に伴う減少及び無形固定資産の減少等により、3,308百万円減少しました。

### Point2: 流動負債の減少

短期借入金が減少した等のため、3,098百万円減少しました。

## 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 2011年4月1日～ 2011年9月30日	当第2四半期連結累計期間 2012年4月1日～ 2012年9月30日	増減額
売上高	232,003	235,369	3,366
売上総利益	15,830	16,328	498
販売費及び一般管理費	12,187	12,626	438
営業利益	3,642	3,702	59
営業外損益	529	685	155
経常利益	4,172	4,387	215
特別損益	△73	△109	△35
四半期純利益	2,698	3,162	464

### Point3: 売上高の増加

アジアを中心に海外での売上が増加しました。

### Point4: 経常利益の増加

持分法投資損益が改善した等のため、215百万円増加しました。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 2011年4月1日～ 2011年9月30日	当第2四半期連結累計期間 2012年4月1日～ 2012年9月30日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,371	13,327	23,698
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,203	56	1,260
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,530	△11,688	△16,218
現金及び現金同等物に係る換算差額	53	171	117
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,990	1,866	8,857
現金及び現金同等物の期首残高	15,777	10,756	△5,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,786	12,820	4,033

### Point5: 営業活動によるキャッシュ・フローの増加

仕入債務の増加額、売上債権の減少額及び税金等調整前四半期純利益がたな卸資産の増加額を上回ったため、13,327百万円となりました。

詳しくは

# 会社情報 / 株式情報

Corporate Information / Stock Information

## 会社概要

(2012年9月30日現在)

- 会社名 稲畑産業株式会社
- 創業年月日 1890年10月1日
- 設立年月日 1918年6月10日
- 資本金 93億6千4百万円
- 従業員数 586名(グループ会社への出向者を含む)  
[連結:3,788名]

- 大阪本社 大阪市中央区南船場一丁目15番14号
- 東京本社 東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号
- 名古屋支店 名古屋市中村区名駅三丁目22番8号
- 営業所 松本営業所、九州営業所(霧島市)

## 役員

(2012年9月30日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	稲畑勝太郎	常勤監査役	佐藤精一
代表取締役専務執行役員	中野佳信	監査役	越智豊
代表取締役専務執行役員	大槻延広	監査役	鈴木修一
取締役常務執行役員	西村修	監査役	松山康二
取締役常務執行役員	金子證	執行役員	尾崎一郎
取締役執行役員	菅沼利之	執行役員	上杉隆
取締役執行役員	横田健一	執行役員	望月卓
取締役執行役員	赤尾豊弘	執行役員	杉山勝浩
取締役	亀井康夫	執行役員	佐藤友彦
取締役相談役	稲畑勝雄	執行役員	藤園弘

(注)1 取締役 亀井康夫は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2 監査役 鈴木修一及び松山康二は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## 株式情報

(2012年9月30日現在)

[発行可能株式総数] 普通株式 200,000,000株  
[発行済株式の総数] 普通株式 65,159,227株  
[株主数] 5,647名  
[大株主の状況](上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
住友化学株式会社	13,836	21.8
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	3,167	5.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,928	4.6
JP MORGAN CHASE BANK 385093	2,249	3.5
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,736	2.7
稲畑勝雄	1,156	1.8
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,115	1.8
株式会社みずほ銀行	1,114	1.8
丸石化学製品株式会社	961	1.5
あすか製薬株式会社	785	1.2

(注)当社保有の自己株式数(1,669,251株)につきましては、上記の表及び持株比率の計算より除いております。



# 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
  - 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。
  - 定時株主総会 毎年6月開催
  - 公告の方法 電子公告 当社のホームページに掲載します。  
<http://www.inabata.co.jp/koukoku>  
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
  - 上場証券取引所 東京・大阪証券取引所 市場第一部
  - 証券コード 8098
  - 単元株式数 100株
  - 会計監査人 大阪市中央区瓦町三丁目6番5号  
銀泉備後町ビル 有限責任 あずさ監査法人
  - 株主名簿管理人及び特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
  - 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎0120-176-417  
<※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。>  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎0120-782-031
- (ホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

## [株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について]

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

## [特別口座について]

株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社(特別口座といひます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。